



## ダリット女性の保健部門への平等なアクセスプロジェクト

2013年4月～9月 中間報告

### はじめに

FEDO（フェミニスト・ダリット協会）は20年以上ネパールのダリット女性の諸問題に関する活動を行ってきました。FEDO パルサ支部は、ネパール中部のシルシヤ VDC（村落開発委員会）とビルグング市の「保健部門のプログラムにおけるダリット女性の平等なアクセス」プログラムを中心に、浄土宗平和協会の支援をえて、この3年間活動を行ってきました。その活動において、FEDO パルサ支部は政府機関および非政府機関に対してダリットコミュニティの問題を提示してきました。

世界は進歩を遂げている中、ネパールのダリット女性は、女性に対するさまざまな形態の暴力や保守的な文化と伝統などに抑圧されています。ダリット女性たちの健康や教育に関する現状を見れば、彼女たちが進歩から取り残されていることがよく分かります。FEDO パルサ支部はこうしたダリット女性の状況を改善し、女性たち自身が保健サービス利用の権利について学べるようなプロジェクトに取り組んできました。

### 2013年4月から9月までの活動のまとめ

上半期は予定通りに進みました。16の女性グループは定期的に会合をもち、毎月貯金をしてきました。グループは、日常生活における衛生の問題と母子保健の問題についてトレーニングを受け、話しあいをしてきました。しかし、トイレの設備がないことは衛生状態を改善する上での問題として残ったままです。

地域の女性たちに、FEDO パルサ事務所へ気軽に立ち寄り、保健に関する問題について相談するように宣伝をしてきました。上半期中、FEDO 相談プログラムを通して地区の保健所に行き、サービスをうけた女性の正確な数は把握されていませんでした。今後はこのプログラムを通してサービスを利用した人数を記録するよう保健所をお願いをしました。ただし、何人かに聞いた話によれば、以前よりも妊娠期間中あるいは出産時に保健所を訪れる女性の数は増えているということでした。女性たちに、早婚（テライ地域ではとても一般的である）と出産時のリスクの高まりの関係について伝える上で、まだ難しさは残っています。これはFEDO パルサにとっての課題であり、引き続き重点的に取り組んでいきます。

全体的にみて、プロジェクトは順調に進んでおり、女性たちや周囲の人びとの反応も良好です。このまま順調に進むことを願っています。

## 活動計画の進捗状況

番号	内容	目標	終了	未了
1	ダリット女性グループの動員 や強化	30	16	16
2	各戸訪問による啓発活動	12	6	6
3	地方自治体とその他の利害関係 者との調整、協同、つながりなど の通常の活動	2	1	1
4	ピア学習研修活動	1	1	0
5	政府機関へのロビー活動	6	3	3
6	VDC、市町役場レベルの 相互交流プログラム	2	1	1
7	ピアトレーナーとの相互交流	2	1	1
8	安全な母性に関するトレーニング	1	0	1
9	衛生意識高揚集会	2	1	1
10	本部からのモニター	1	0	1
11	地域事務所からのモニター	6	3	3

## 現時点で終了している活動の報告

### 1. ダリット女性グループの動員や強化

保健プロジェクトに参加したダリット女性たちから、5つのダリット女性グループがシルシヤVDCで、22のグループがビルガンジで結成されました。グループは月例会議を開き、女性の暴力、健康、女性の権利などについて話し合いました。加えて、どのようにしてグループの財政を支えるかなどについても話しあいました。月例会議は以下の問題を中心にとりあげました：

- ・衛生
- ・予防接種と栄養管理
- ・肺結核と HIV/AIDS
- ・安全な母性
- ・性感染症
- ・家族計画
- ・ハンセン病 他

## **2. 各戸訪問による啓発活動**

FEDO パルサ支部はダリット女性の保健サービスへの平等なアクセスのために、ダリット女性のグループを作り、トレーナーやピア（仲間）教育者の協力をえながら、地区の各戸を訪問し、保健に関する問題に関心をもってもらう活動をしてきました。各戸訪問では、ピア教育者がターゲットグループの家を回り、衛生問題やさまざまな病気について説明をしました。また、家族計画を説明し、避妊具を渡して実践するよう求めました。

各戸訪問の実績は次の通りです：

- ・世帯数： 218
- ・女性： 399 人
- ・男性： 690 人
- ・合計： 1,089 人

## **3. 利害関係者の調整**

浄土宗平和協会の財政支援をえて、この 3 年間、FEDO パルサ支部の“ダリット女性の保健部門への平等なアクセス”プロジェクトは実施されてきました。このプログラムのもと、2013 年 7 月 31 日に地元の関係者が集まり、ネパール医師会の会館で調整会議を開きました。会議には男性 14 人、女性 19 人が集まりました。FEDO パルサが行なった活動が報告され、地元の関係者から感謝されました。また、次のような提案がなされました：

- ・ダリットの子どもの学習意欲を高めるため、奨学金プログラムを作る。
- ・ダリットコミュニティに非定型教育や幼児教育を提供する。
- ・基金を設立してダリットの子どもや孤児の教育支援をするのはどうか。
- ・ダリット女性の政治活動への参加を高めるべきである。
- ・貯蓄プログラムを奨励して、協同組合からの支援を探るべきである。
- ・活動領域を広げれば、ターゲットグループも広がるはずである。
- ・ダリットの経済状況をスキル支援プログラムで改善できる。

## **4. 政府機関へのロビー活動**

地元の政府機関との調整により、ダリットの問題への対処が可能となります。FEDO の地区コーディネーターと理事会は、地区保健事務所を訪問し、プロジェクトの進捗状況を話し合い、ダリット女性の保健サービスへの平等なアクセスへの権利のためにロビー活動を行ないました。彼女たちが権利を行使するにはコミュニティにおける教育が必要であり、FEDO メンバーは地区保健担当者に実態を知らせるためにロビー活動を行ないました。

全国報道委員会の委員長マハト氏は FEDO の活動を評価し、FEDO がこの活動を続けていけるよう奨励しました。彼はまた、7 月 19 日、FEDO の 3 年間の活動についてコメントをしました。報道委員会はダリットコミュニティの声がメディアでとりあげられ、社会に

届けられるようにする活動を行っています。

FEDO のメンバーは 2013 年 9 月 22 日に地区の家畜事務所を訪問してロビー活動を行いました。地区家畜事務所は、その予算の一部をダリット女性のエンパワメントのためにとってくれています。家畜事務所は山羊の提供、乳製品や食肉販売店あるいは協同組合の改善に協力をしてくれました。FEDO のメンバーはダリットコミュニティが常に抱える問題である財政困難について話しあいました。

## 5. ピア教育者トレーニング

トレーニングの主な目的は、ピア教育者を通して、ダリット女性と子どもたちの保健教育を行ない、コミュニティの健康問題を改善することにあります。3 人のファシリテーターによるトレーニングには合計 35 人が参加をしました。トレーニングの課題は次の通りです。

- ・ 性感染症
- ・ 肺結核
- ・ 膀胱炎
- ・ HIV/AIDS
- ・ 栄養不良
- ・ 下痢、他

トレーニングは 2013 年 5 月 26-28 日の間、ピア教育者により実施されました。

## 6. ピア教育者の交流

各戸訪問においてピア教育者が直面した問題や発見について、2013 年 6 月 25 日開いた第 1 回交流会議で報告が行なわれました。27 グループから合計 27 人のピア教育者が参加をしました。会議の議題は次の通りでした：

- ・ 各戸訪問について簡単な話しあい
- ・ 訪問プログラムのレビュー
- ・ 訪問中の問題
- ・ 記入用紙の回収

この話し合いで出た訪問結果や課題は、参加者の人数、女性に対する暴力およびその他の問題でした。会議の内容は FEDO スタッフが録音しました。

## 7. モニターと評価

“ダリット女性の保健部門への平等なアクセス” プログラムを評価するため、ニラ・クマリ・ラム支部長は次のターゲットグループの会議に参加して、助言をしました。

- ・ チェタナ・ダリット女性グループ
- ・ ジャヤマハビル・ダリット女性グループ
- ・ ムルカン・ダリット女性グループ

- ・サトマイ・ダリット女性グループ

女性グループは次のことを求めています：

- ・女性の権利に関するトレーニング
- ・女性に対する暴力に関するトレーニング
- ・スキルトレーニング
- ・縫製と裁断のトレーニング

プログラムの結果は次の通りです：

- ・ケディヤ眼科病院は 53 人のダリット女性に眼に関するトレーニングを提供した。
- ・53 人のダリット女性は無料の眼の検診を受けた。
- ・3 人のダリット女性は無料の眼の手術を受ける。
- ・全国結核復帰協会（NATA）は結核に関する啓発プログラムを、14 人のダリット男性および 36 人のダリット女性に提供した。
- ・ダリットの 100 世帯がヒマラヤ社会福祉協会から結核と HIV 感染反応検査のトレーニングを受けた。
- ・ガハワの 20 人のダリット女性が結核と HIV に関する啓発トレーニングを受けた。
- ・彼女たちは家族計画の方法について知ようになった。
- ・FEDO のメンバーたちは屋外での排泄・排便習慣を変えた。
- ・5 つの女性グループが保健のために貯蓄を始めた。

## 8. VDC 交流プログラム

地元の政府機関との調整のために、地区レベルの会議が 2013 年 8 月 30 日、シルシャ VDC で開催されました。保健部門におけるこの問題について話し合いが行われ、ダリットコミュニティの生活水準を高めるために教育部門におけるプログラムを増やすことについて話し合いが行われました。地方自治体担当者と女性グループのメンバーがこの議論に参加しました。地元の VDC のプライマリーヘルスケアの担当者は、さまざまな政府の保健サービスについて女性グループに情報を提供する責任をもっていることが確認されました。

## 9. 衛生啓発集会

2013 年 9 月 19 日に意識高揚のための集会が開催されました。集会は石鹸での手洗いの慣行と屋外のトイレでの用足しの停止の課題に集中しました。女性 67 人と男性 7 人が集会に参加をし、集会の内容をそれぞれ地元に広めました。

日本語作成：反差別国際運動日本委員会

<次ページに写真>



ピア教育とトレーニング



ダリット女性グループの会議

ピア教育とトレーニング



HIV/AIDS のオリエンテーション

